

2022年4月7月1日(金)、桐生の街歩きの計画は過去2度中止となり、3度目にやっと実行することができました。

JR 桐生駅を起点に、織物の町、桐生、織物業が隆盛を極めた往時の遺産ともいべき煉瓦造りの建物やのこぎり屋根の工場など近代化遺産を見てきました。

猛暑が続く中、参加の皆さんにも日傘の用意や多めの給水準備など熱中症対策をお願いし、こまめな休息、給水を取りながらのハイキングでした。

当日午後2時30分頃、桐生市で全国の今年最高の40.4℃を記録し、記憶に残るハイキングとなりました。

散策ルート(約6km)は以下マップの赤色線の通り。

今回の参加者は9名でした





10:35 桐生駅にて、コース予定など幹事より説明。

猛暑対策のため、皆さんに体調を見ながら都合によりコース変更もある旨連絡。



10:40 桐生駅前を出発。  
強い陽射しで日陰がくっきり



10:45 上毛電鉄西桐生駅駅舎(国登録文化財)  
昭和3年上毛電鉄開業時に建築、マンサート屋根、昭和初期のモダンな洋風建築



10:52 水道山記念館へ向けて急坂を上る。



11:00 水道山記念館へ  
桐生市の水道施設は昭和7年に開始  
内部に当時の写真パネル展示



11:08 水道山公園への上り道、木陰で小休止

11:15 水道山公園頂上の東屋でゆっくり休憩  
時折、涼しい風が通って、ホッと一息！



11:18 桐生の街並みが一望できました。



11:35 水道山を下山し、桐生の街へ



11:55 矢野本店店舗(市指定重要文化財)  
1749年(寛延2年)創業、酒・味噌・醤油の  
製造・販売で桐生の商業発展に寄与  
江戸から大正にかけて煉瓦蔵が建築された。

有鄰館(旧矢野蔵群)(市指定重要文化財)

**有鄰館案内板**

**桐生市指定重要文化財 旧矢野蔵群(有鄰館)**  
Kiryo City Designated Important Cultural Asset Former Yano Warehouses (Yurinkan)

この蔵群は酒・醤油・味噌などの醸造業が発達していた頃の建物で、江戸時代から大正時代に建築された高岡蔵と旧蔵が桐生市指定重要文化財になっています。  
一帯敷地内に現存する蔵群としては桐生市内では最大の規模をもち、まち並み保存の観点としても位置づけられています。中でも雄互蔵は有鄰館を特徴づける建物であり、入り口の石橋、本造の和瓦屋根など古物の味を長く残しています。その他の蔵も土・漆・漆喰とそれぞれが異なる姿を持ち、大きさや形も異なった柱などの独特の空間を演出し、コンサートや舞台、ギャラリーなど多目的に活用されています。

桐生市指定重要文化財(有鄰館)  
桐生市指定重要文化財(有鄰館)  
桐生市指定重要文化財(有鄰館)  
桐生市指定重要文化財(有鄰館)  
桐生市指定重要文化財(有鄰館)

所在地 桐生市本町2-6-32  
建築 煉瓦蔵 徳五郎、工部地  
開館 昭和51年  
休館 毎月第1、3、5日曜日  
休館 毎月第1、3、5日曜日

TEL: 0277-331111  
FAX: 0277-331111  
URL: http://www.yurinkan.jp/

桐生22年発行の「大日本博覧会」より





12:15~13:10

暑い中、予約していた「うどん・そば 藤屋本店」に入り、クーラーで涼を取りながら昼食。  
(そばを食べたかった方も多かったが、残念ながら売り切れで、皆さんうどんでした。)  
久々に、ハイキング仲間での食事会となりました。

13:20 食事後、天満宮へ向かう一行



13:25 境内参道を本殿へ

幹回り5mはあろうかという御神木の大銀杏



天満宮社殿(県指定重要文化財)

1591年(天正19年)現在地に遷座され、社殿は江戸時代の権現造で、本殿と幣殿の外側には極彩色の装飾がされている。

社殿の彫刻装飾は日光東照宮の彫刻を手掛けた名工・関口文次郎によるものとの事。





13:30 天満宮(天神様)の牛の像の前で集合写真



13:50~14:20

ベーカリーカフェレンガ(国登録有形文化財)

(旧金谷レース工業(株)工場・事務所)  
大正8年に建築され、桐生に現存する唯一の  
レンガ造ののこぎり屋根工場。

中ではベーカリー・カフェ レンガというお店が  
営業しており、避暑を兼ねて、ティータイムを  
とり、皆さんアイスコーヒーなどで、ゆっくり休憩  
をとりました。





14:25 旧曾我織物織物新工場  
(国登録有形文化財)  
大正11年に建築された、大谷石造の  
のこぎり屋根工場

北西側に採光面を設け、通風用の丸窓  
が特徴。

14:26 道路反対側の日陰で、大谷石のこぎり  
屋根工場を眺める皆さん。

この時刻に桐生市の最高気温は  
**40.4℃**と今年度日本一を記録！！



14:50 桐生織物記念館  
昭和9年に桐生織物向上のために設立された  
桐生織物同業組合事務所として建設。

15:10 桐生織物の歴史などのビデオを約20分  
鑑賞しながら、冷房の室内で避暑



15:40 桐生駅へ向かう(アーケードの日陰を歩く)  
皆さん

15:45 桐生駅前へ到着



15:57 無事に駅に帰着 幹事挨拶  
ここで一応解散  
皆さまお疲れ様でした。

梅雨時であり、雨天の心配をしておりましたが、数日前から梅雨は空け、猛暑日が続く中でのハイキングとなってしまいました。この暑さの中でのハイキング・・・避暑対策を十分行うこと、給水を怠らないこと、疲れたらすぐ休むこと、計画変更も問題ないことなど、スタート前にお願い、確認して出発しました。

結果的には、今年度日本一の最高気温が記録された日、その時間に、その場に居たことになりました。幸い、皆さんの準備と協力で、誰も体調を崩されることなく、終わられたことに、安堵し、本当に皆さんに感謝しております。今後、夏場のハイキングの実施は、現状の8月の活動休止だけではなく、猛暑予想での休止も入れて行く必要がありそうですね。

織物の町桐生の街歩き、3度目の正直で実施できたことは良かったかなと思っています。約6kmのハイキングでしたが、大きなトラブルもなく無事に完歩できたよかったです。参加の皆様、大変お疲れさまでした。

次回は、来年9月2日(金)「川越の七福神めぐり」が美術工芸科の担当で開催されます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記:加藤 治朗